

2017年9月期決算説明会

2017年12月1日 兜町平和ビル
株式会社CSSホールディングス

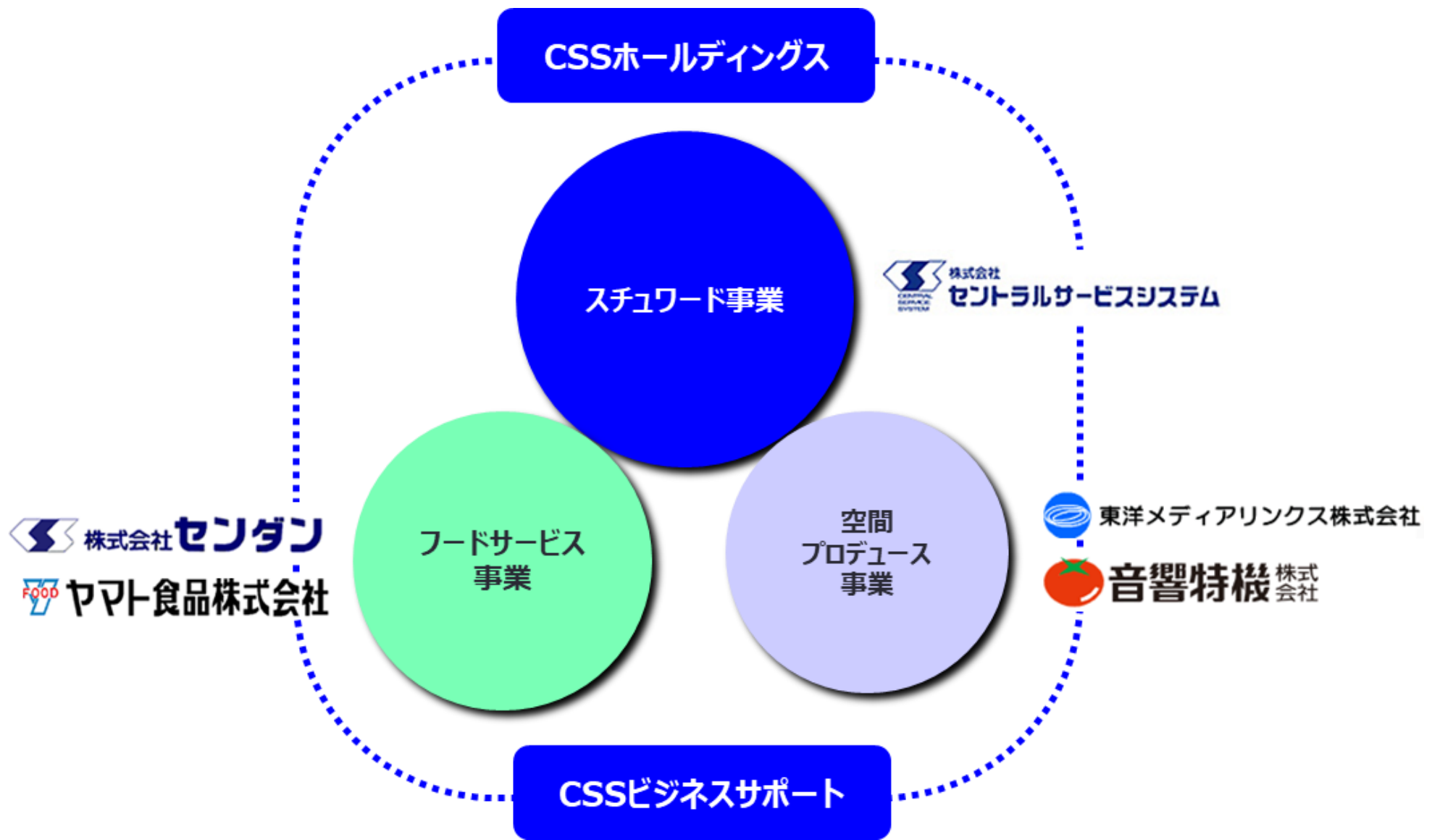
2017年9月期決算

【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【設立】	1984年（昭和59年）12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	5,285,600株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【連結従業員数】	5,521名（うち、パート・アルバイト 4,957名）（2017年9月30日現在）

(単位：百万円)	前 期	当 期	前年差	計画値	計画差	(参考)31期	差 異
売上高	18,129	16,895	▲ 1,233	16,820	75	17,654	▲ 758
営業利益	447	262	▲ 184	207	55	334	▲ 71
経常利益	503	291	▲ 211	229	62	322	▲ 30
親会社に帰属する当期純利益	464	152	▲ 311	142	10	253	▲ 100
1株あたり当期純利益(円)	92.01	30.22	▲ 61.79	28.15	2.07	50.23	▲ 20.01

(単位：百万円)	前期末	当期末	差 異
資産合計	6,705	6,675	▲ 30
流動資産	3,848	3,711	▲ 137
固定資産	2,856	2,964	107
負債合計	4,148	3,959	▲ 189
流動負債	2,761	2,749	▲ 12
固定負債	1,387	1,210	▲ 176
純資産合計	2,556	2,715	158
株主資本	2,490	2,590	100
評価・換算差額等	66	124	58
負債・純資産合計	6,705	6,675	▲ 30
自己資本比率	38.1%	40.7%	2.6P

(単位：百万円)	前期末	当期末	差 異
営業キャッシュフロー	376	210	▲ 166
投資キャッシュフロー	194	▲ 126	▲ 320
財務キャッシュフロー	▲ 575	▲ 294	281
現金及び現金同等物の増減額	▲ 4	▲ 210	▲ 205
現金及び現金同等物の期首残高	1,302	1,298	－
現金及び現金同等物の期末残高	1,298	1,088	▲ 210

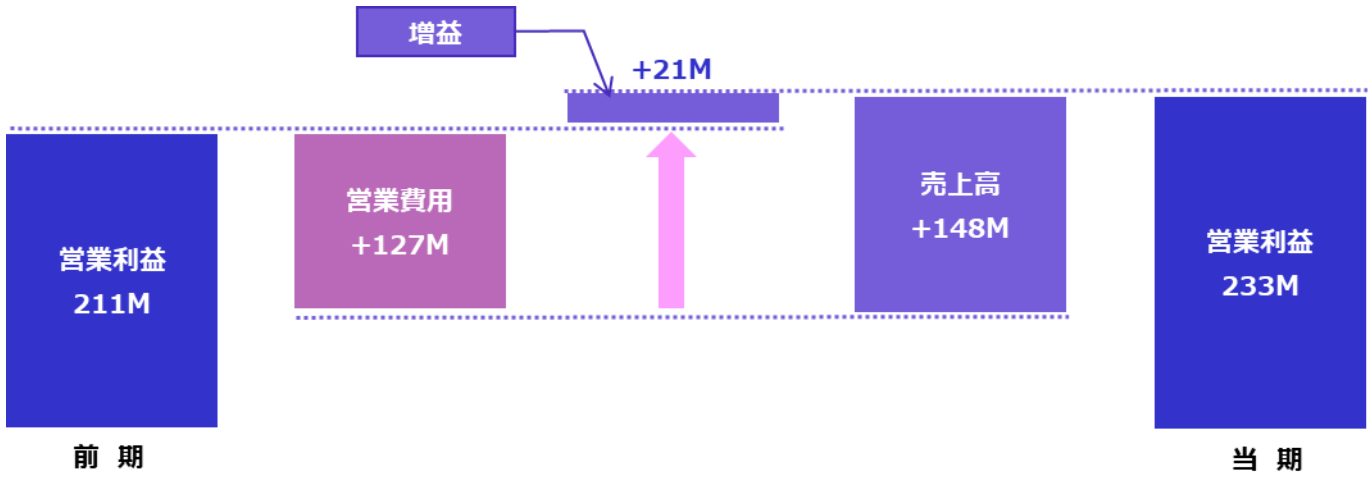


スチュワード管理事業(株式会社セントラルサービスシステム)

【事業内容】 食器洗浄を中心としたスチュワード管理業務
【主要顧客】 ホテル、レストラン、会館
【資本金】 50百万円
【従業員数】 4,178名 [うち、パートナー (パート・アルバイト) 3,975名]
【事業所】 全国 159 事業所 (2017年9月30日現在)



(単位：千円)	前 期	当 期	差 異	備 考
売上高	6,402,659	6,551,650	148,991	
営業費用	6,191,203	6,318,432	127,228	
営業利益	211,456	233,218	21,762	



Point

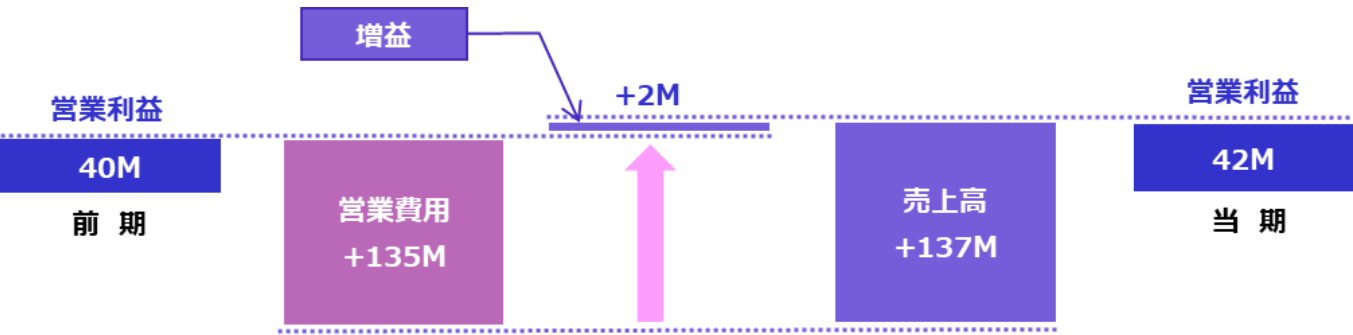
- 新規受託8件、事業所については全国159ヶ所に拡大。
- 売上拡大約1.5億円に対し、人件費及びその他経費も増加したものの、営業利益については、約2千万円の増収となった。

総合給食事業(株式会社センダン)

【事業内容】 従業員食堂、レストランの運営およびフードサービス全般
【主要顧客】 ホテル、一般企業、学校、病院、介護施設
【資本金】 50百万円
【従業員数】 760名 [うち、パートナー (パート・アルバイト) 639名]
【事業所】 全国 91 事業所 (2017年9月30日現在)



(単位：千円)	前 期	当 期	差 異	備 考
売上高	2,394,505	2,532,390	137,885	
営業費用	2,354,039	2,489,627	135,587	
営業利益	40,466	42,763	2,297	



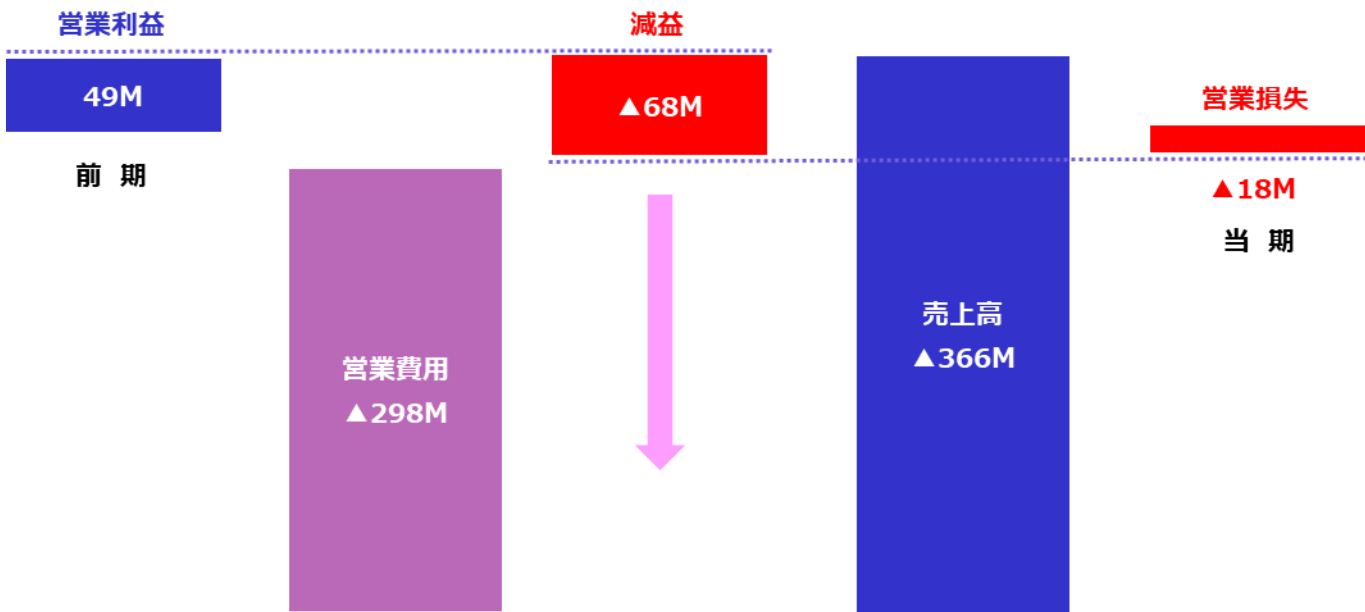
! Point

- 売上高は25億円を突破
- 事業所数は91ヶ所に増加
- 売上に連動して原価および人件費も上昇するものの、2百万円の増益となる

食材販売事業(ヤマト食品株式会社)

【事業内容】 献立付食材販売、受託給食
【主要顧客】 高齢者福祉施設、建設現場事務所
【資本金】 10百万円
【従業員数】 430名 [うち、パートナー (パート・アルバイト) 331名]
【営業所】 全国 9営業所 (2017年9月30日現在)

(単位：千円)	前 期	当 期	差 異	備 考
売上高	3,122,377	2,755,434	▲ 366,943	
営業費用	3,072,976	2,774,034	▲ 298,942	
営業利益	49,401	▲ 18,600	▲ 68,001	

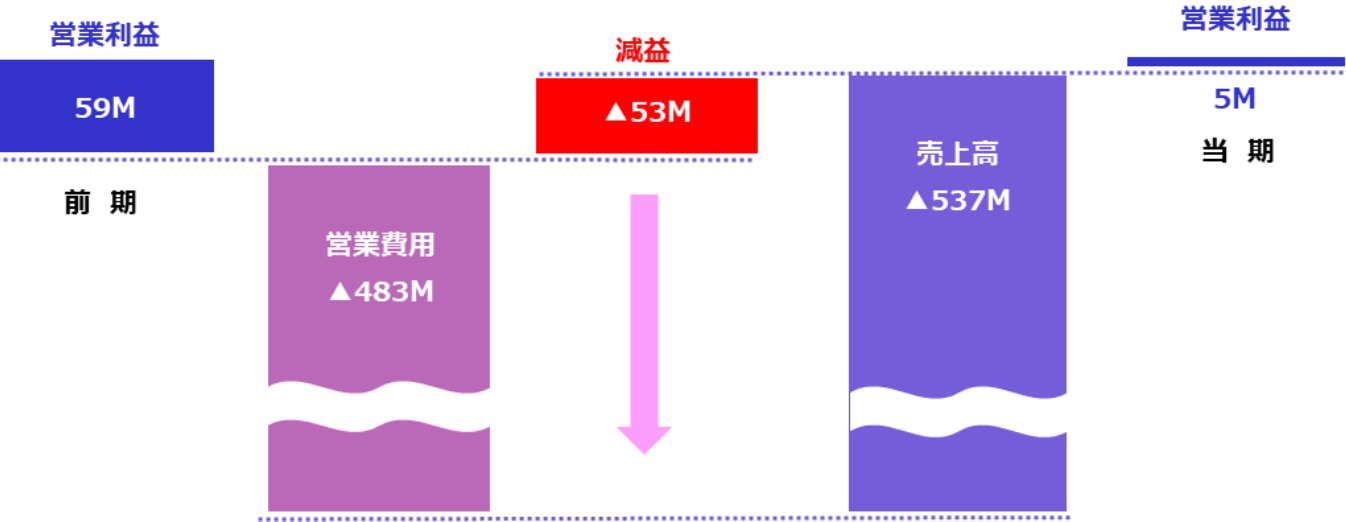


Point

- 大手建設現場の工事完了に伴う契約終了、食材販売における大型失注等の影響で売上高は約3.6億円の減額
- 営業費用の削減を行うものの、原価の高止まり等もあり、約7千万円の減益となり、営業損失の計上となった。

【事業内容】 音楽関連業務、セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工業務
【主要顧客】 金融機関、商業施設、ホテル、公共施設
【資本金】 50百万円
【従業員数】 74名 (2017年9月30日現在)

(単位：千円)	前 期	当 期	差 異	備 考
売上高	2,977,520	2,440,422	▲ 537,097	
営業費用	2,918,489	2,434,578	▲ 483,911	
営業利益	59,031	5,844	▲ 53,186	



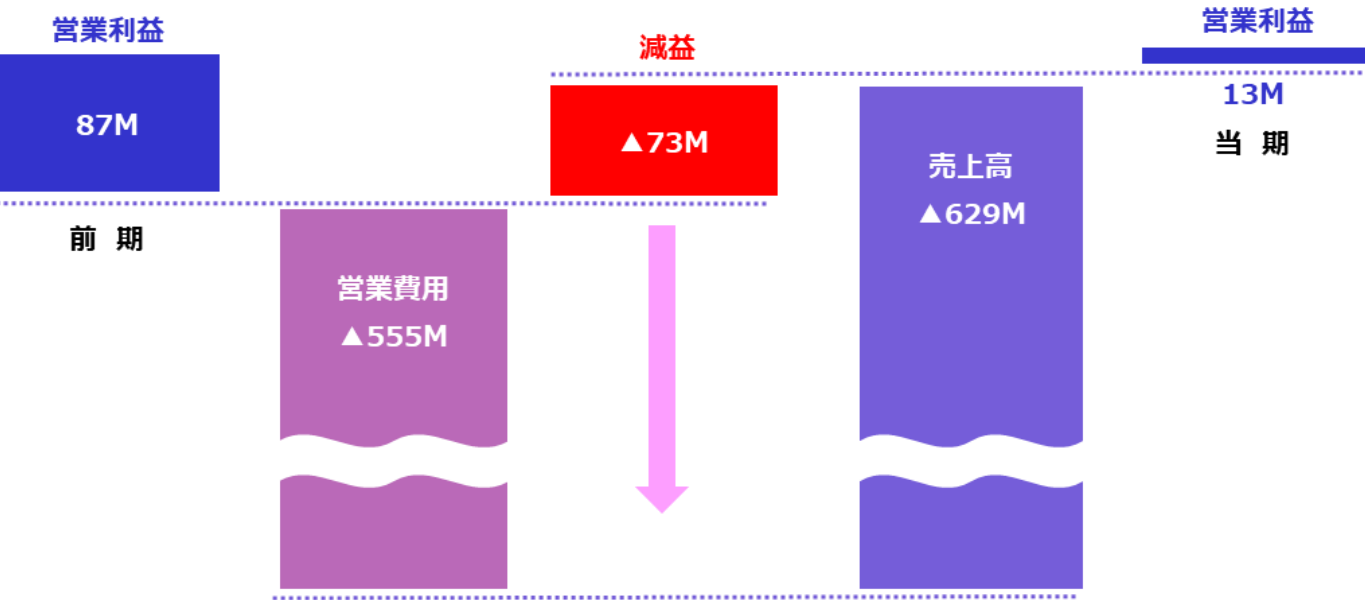
⚠ Point

- 金融機関の投資抑制、官公庁工事の落札率の低調等で売上高は約5億円減。
- 営業費用を削減するも、約5千万円の減益となった。

音響・放送機器等販売事業(音響特機株式会社)

【事業内容】 スピーカーやアンプ・ミキサーなど、プロフェッショナル向け音響機器の輸入・販売
【主要顧客】 音響設備会社、劇場・ホール、ホテル、放送局、テーマパーク
【資本金】 100百万円
【従業員数】 44名（2017年9月30日現在）

(単位：千円)	前 期	当 期	差 異	備 考
売上高	3,276,799	2,646,968	▲ 629,830	
営業費用	3,189,706	2,633,814	▲ 555,892	
営業利益	87,092	13,154	▲ 73,938	



Point

- 電波法改正に伴う前年までの特定需要の反動等もあり売上高は約6億円の減額。
- 原価の抑制に取り組むが、約7千万円の減益となった。

2018年9月期予想及び 今後の取組み

2018年9月期予想

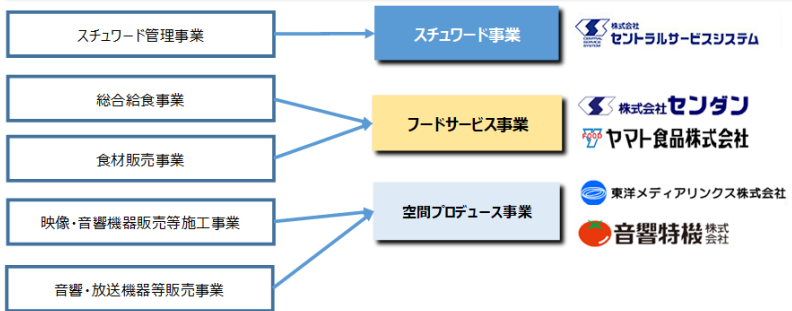
2018年9月期業績予想

(単位：千円)

		2017年9月期	2018年9月期予想	前年差	前年比	備 考
連結収支	売上高	16,895,601	17,477,729	582,128	103.4%	
	営業費用	16,632,604	17,193,966	561,362	103.4%	
	営業利益	262,997	283,763	20,766	107.9%	
	経常利益	291,883	300,678	8,795	103.0%	
	経常利益率	1.73%	1.72%	－	－	
		2017年9月期	2018年9月期予想	前年差	前年比	備 考
売上高	スチュワードセグメント	6,551,650	6,787,000	235,350	103.6%	
	フードサービスセグメント	5,287,825	5,220,000	▲ 67,825	98.7%	
	空間プロデュースセグメント	5,040,856	5,450,000	409,144	108.1%	※セグメント消去反映
	セグメント消去	▲ 46,536	▲ 50,000	▲ 3,464	107.4%	
	その他	1,040,426	904,049	▲ 136,377	86.9%	
	連結消去	▲ 1,025,157	▲ 883,320	141,837	86.2%	
	合計連結	16,895,601	17,477,729	582,128	103.4%	
営業費用	スチュワードセグメント	6,318,432	6,592,748	274,316	104.3%	
	フードサービスセグメント	5,263,574	5,175,319	▲ 88,255	98.3%	
	空間プロデュースセグメント	5,021,857	5,367,961	346,103	106.9%	※セグメント消去反映
	セグメント消去	▲ 46,536	▲ 50,000	▲ 3,464	107.4%	
	その他	715,501	793,212	77,711	110.9%	
	連結消去	▲ 686,761	▲ 735,273	▲ 48,512	107.1%	
	合計連結	16,632,604	17,193,966	561,363	103.4%	
営業利益	連結営業利益	262,997	283,763	20,765	107.9%	
経常利益	連結経常利益	291,883	300,678	8,795	103.0%	

CSSグループの方向性

- 1社1セグメントから3つのセグメントへ変更
- チャンスを活かし、リスクを回避しながら3つの分野でグループを拡大



新たな中期経営計画で目指すもの

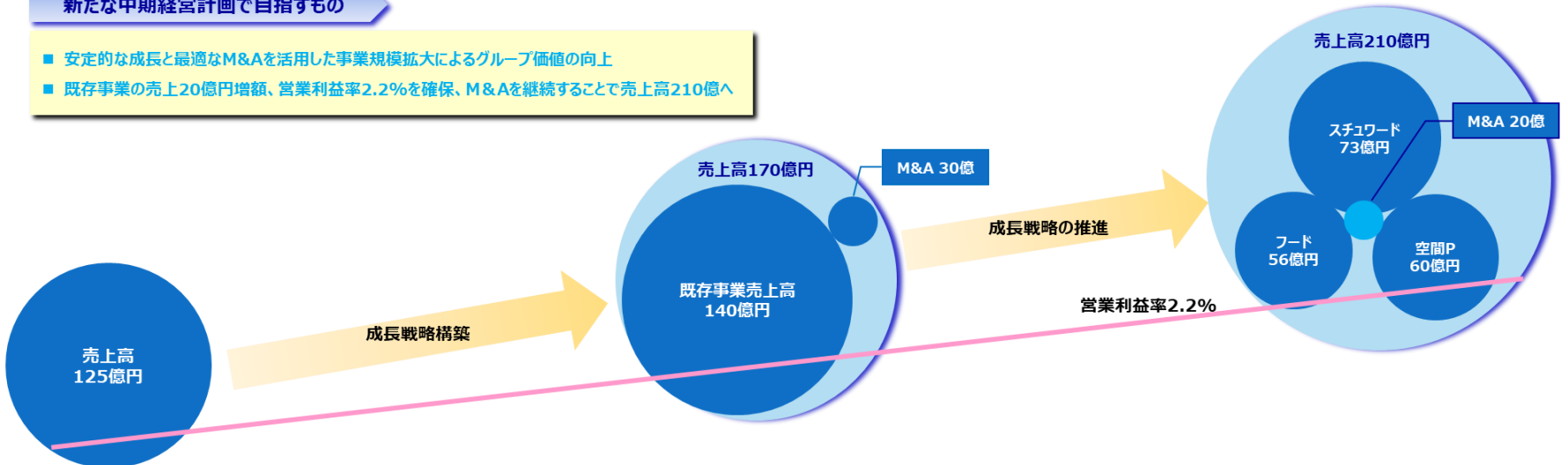
- 安定的な成長と最適なM&Aを活用した事業規模拡大によるグループ価値の向上
- 既存事業の売上20億円増額、営業利益率2.2%を確保、M&Aを継続することで売上高210億へ

各セグメントの施策

「スチュワード事業」
業界のリーディングカンパニーとして、「人材育成」、「進化」による品質向上、サービスの「均一化」に継続的に取り組み、これまでのノウハウを形にすることでスチュワード専門会社としてのブランドを確立する。

「フードサービス事業」
これまでのホテルを中心とする受託給食と食材販売を主体としつつ、受託給食の対象を高齢者福祉施設へ拡大すると共に、宿泊主体ホテルのレストランの受託を推進する。

「空間プロデュース事業」
これまで培った技術力や営業力を基軸としたハードとソフトの融合や周辺機器に及ぶ新商材への拡大、新規顧客の拡大、オリンピック・パラリンピックにおけるオフィシャルメーカーとのコラボを含めた新たな事業展開の推進による売上高の拡大。



Review

- スチュワード事業及び給食事業並びに音響・放送機器等販売事業は、中計目標を達成。
- 映像・音響機器等販売施工事業は伸び悩む。
- M&Aは2件を実行、目標とする売上規模50億円には届かなかったものの、一定の成果を上げた。

Chance

- 穏やかな景気回復基調の継続
- 訪日外客の増加
- オリ・パラ関連需要の拡大
- 高齢者福祉関連市場の拡大

Risk

- 少子高齢化による人手不足
- 最低賃金上昇に伴う人件費増加
- 国際情勢の変化に伴う景気動向の変化

本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス グループ経営管理室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail info@css-ltd.co.jp